

令和4年度

クリニカル・ インディケーター（臨床指標）



社会福祉法人富山県社会福祉総合センター
富山県リハビリテーション病院・
こども支援センター

クリニカルインディケーター（臨床指標）

より質の高い医療を目指して

クリニカルインディケーター（臨床指標）とは、病院の機能や診療の状況などについて、様々な指標を用いて具体的な数値として示したものです。指標を分析し、改善を促すことにより、医療の質の向上を図るとともに、患者さんにとって分かりやすい医療情報を提供することを目的としています。

富山県リハビリテーション病院・こども支援センターでは、病院の特色を踏まえた指標を加えて、10ジャンル24指標4参考指標の項目を設定しました。

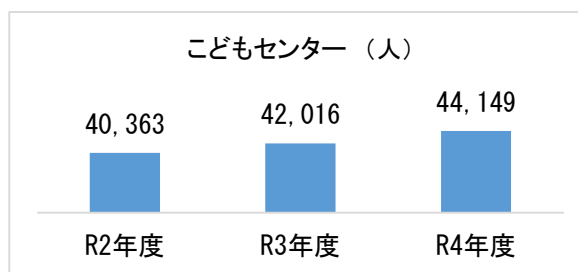
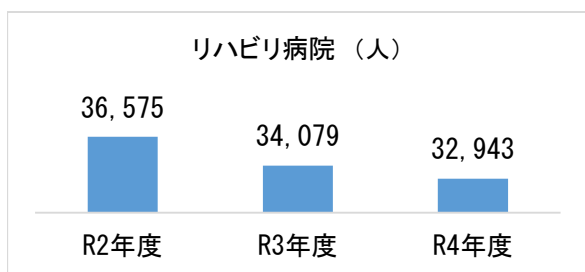
1 病院全体

■ 延外来患者数

内容

1年間の延外来患者数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
リハビリ病院	36,575	34,079	32,943
こどもセンター	40,363	42,016	44,149

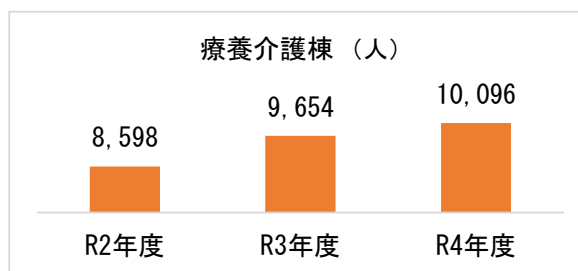
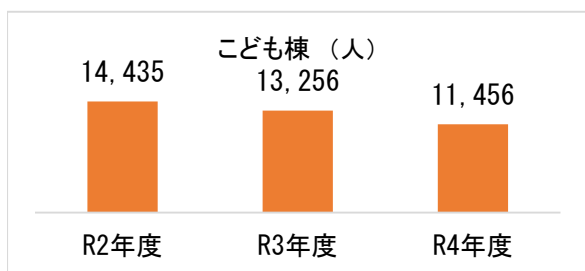
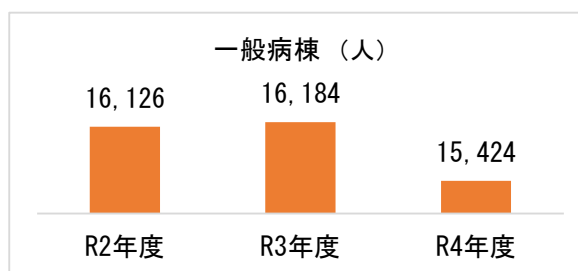
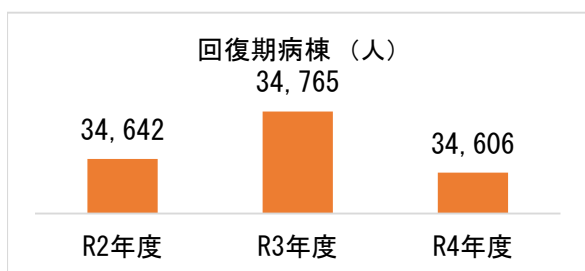


■ 延入院患者数

内容

1年間の延入院患者数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
回復期病棟	34,642	34,765	34,606
一般病棟	16,126	16,184	15,424
こども棟	14,435	13,256	11,456
療養介護棟	8,598	9,654	10,096

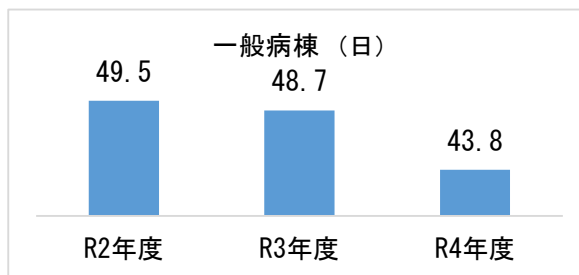
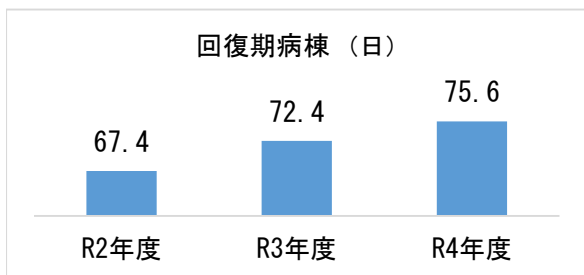


■ 平均在院日数

内容

1人の患者さんが平均何日間入院しているのかを示す指標です。

	R2年度	R3年度	R4年度
回復期病棟	67.4	72.4	75.6
一般病棟	49.5	48.7	43.8



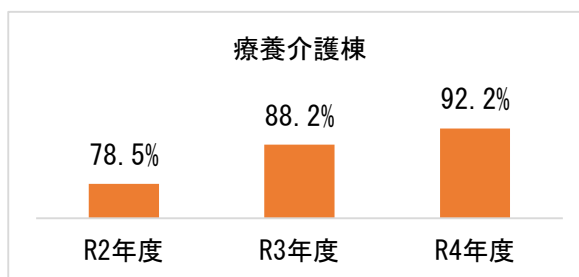
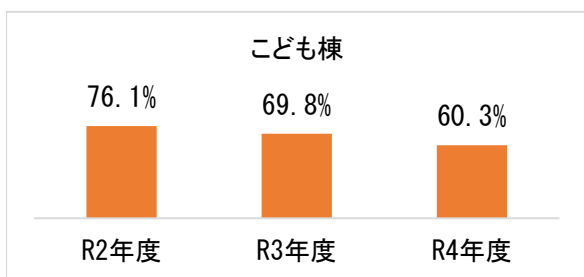
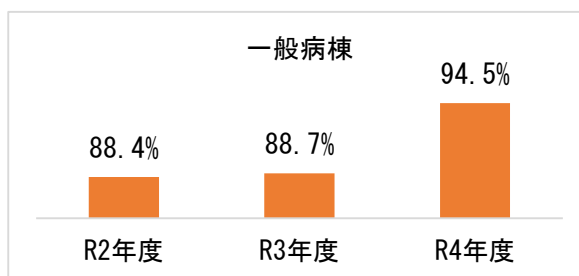
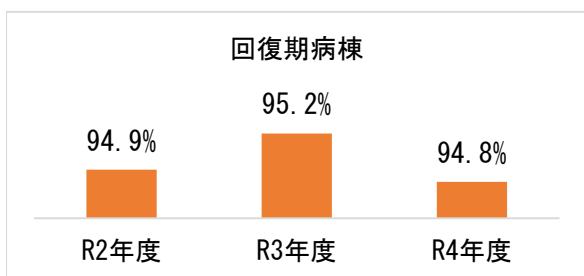
■ 病床利用率

内容

ベッドの稼働状況を示す指標です。

病床利用率の高さは、可能な限り多くの入院患者さんを診ていることを示しています。

	R2年度	R3年度	R4年度
回復期病棟	94.9%	95.2%	94.8%
一般病棟	88.4%	88.7%	94.5%
こども棟	76.1%	69.8%	60.3%
療養介護棟	78.5%	88.2%	92.2%



■ 富山医療圏以外の退院患者数

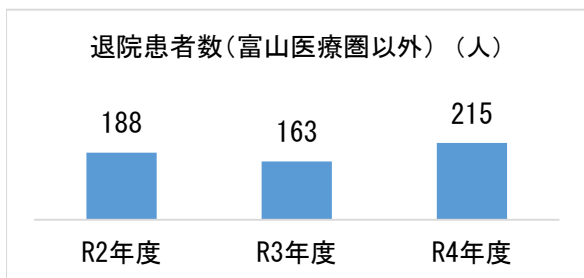
内容

遠方からの受診を希望された患者さんの人数です。

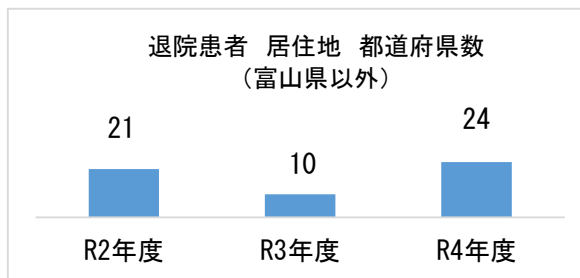
当院は富山市、滑川市、立山町、上市町、舟橋村を含む富山医療圏となります。遠方からの受診を希望された患者さんが多いことは、医療水準の高さを示しています。

特に、県外からも多くの県から来院しています。

	R2年度	R3年度	R4年度
富山医療圏以外退院患者数	188	163	215
うち富山県外退院患者数	21	10	24

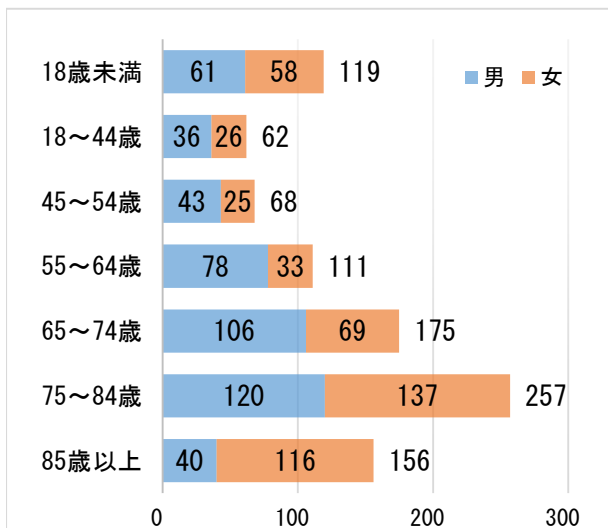


【参考】

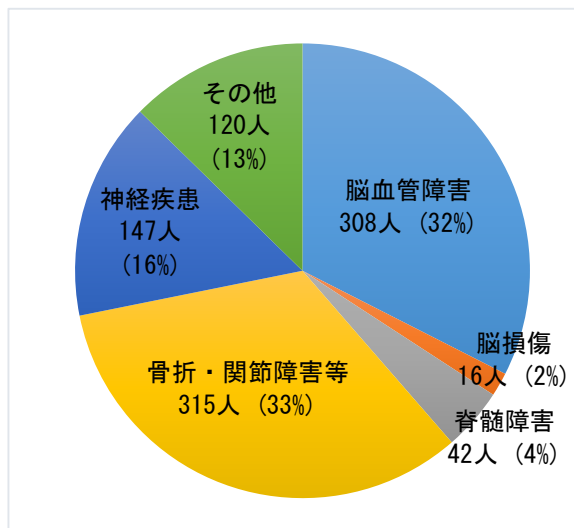


【参考】

■ 令和4年度 患者属性(退院患者)



■ 令和4年度 疾患別割合(退院患者)



2 リハビリ

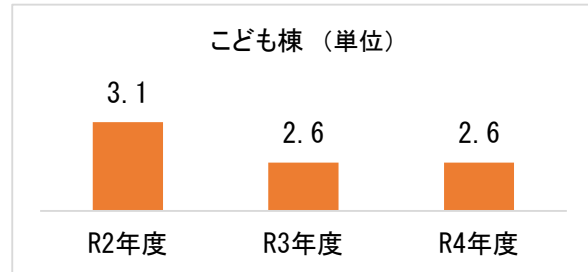
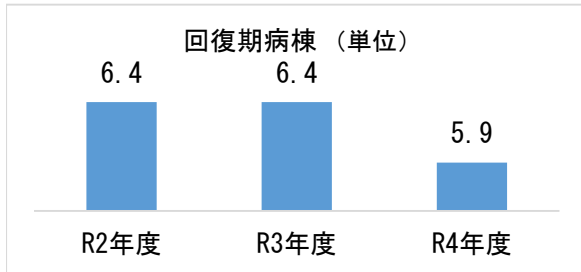
■ 1日平均リハビリ単位数(1単位=20分)

内容

患者さん1人1日あたりのリハビリ単位数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
回復期病棟	6.4	6.4	5.9
こども棟	3.1	2.6	2.6

※ こども棟:リハビリ訓練対象者のみ

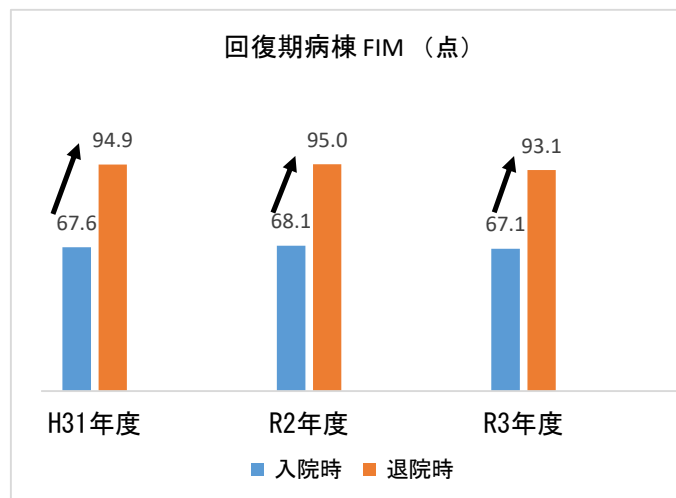


■ 日常生活(ADL:Activities of Daily Living)の改善(回復期病棟)

内容

食事、移動、排泄などの日常生活動作を評価した点数の回復期病棟に入院した時点と退院時点の差です。

	R2年度	R3年度	R4年度
入院時	68.1	67.1	68.2
退院時	95.0	93.1	92.0
改善度	26.9	26.0	23.8



3 回復期病棟

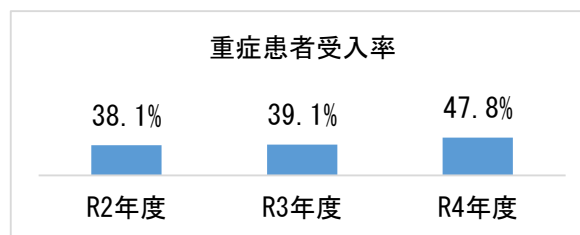
■ 重症患者受入率

内容

日常生活自立度の低い患者さん・医療処置が多い患者さんを受け入れた割合です。

※ 重症患者の定義:ADL10点以上またはFIM55点以下

	R2年度	R3年度	R4年度
重症患者受入率	38.1%	39.1%	47.8%

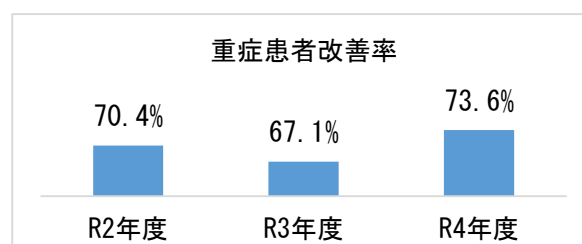


■ 重症患者改善率

内容

上記の重症患者さんのうち、高い改善が認められた割合です。

	R2年度	R3年度	R4年度
重症患者改善率	70.4%	67.1%	73.6%

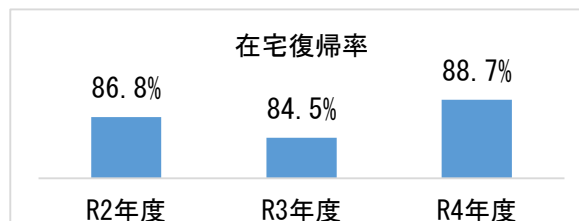


■ 在宅復帰率

内容

在宅(特養、グループホームなど含む)へ復帰された患者さんの割合です。

	R2年度	R3年度	R4年度
在宅復帰率	86.8%	84.5%	88.7%

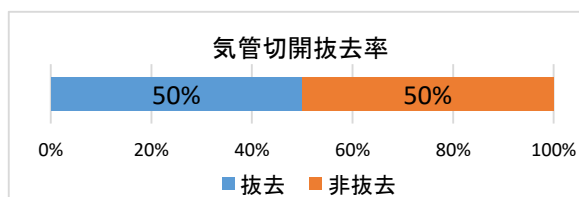


【参考】気管切開・経管栄養・膀胱カテーテルの状況

■ 気管切開抜去率(n=12)

内容

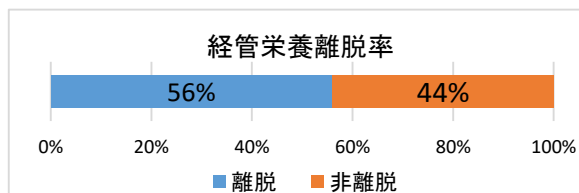
気管切開状態で入院された方の50%が、退院までに気管切開孔を閉鎖することができま



■ 経管栄養離脱率(n=50)

内容

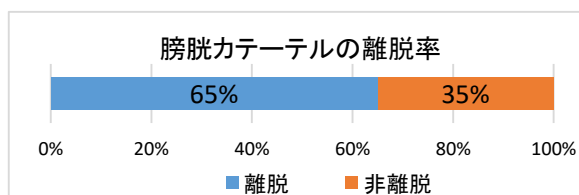
経管栄養が必要な状態で入院された方の56%が、3食経口摂取できるようになりました。



■ 膀胱カテーテルの離脱率(n=31)

内容

膀胱カテーテル留置で入院された方の65%が、カテーテルを抜くことができ、自排尿の状態での退院されました。



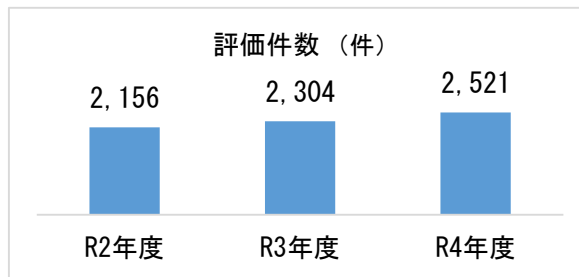
4 こどもセンター（外来、入所・通所等含む）

■ 評価件数

内容

患児の運動・精神機能や日常生活の活動性などを捉えた件数です。3か月ごとの定期評価も含んでいます。

	R2年度	R3年度	R4年度
評価件数	2,156	2,304	2,521

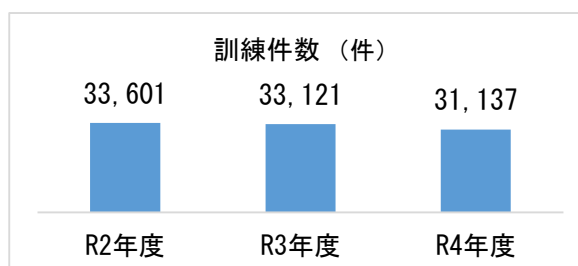


■ 訓練件数

内容

評価に基づく適切な目標設定とプログラムを作成し、実施している件数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
訓練件数	33,601	33,121	31,137



【参考】

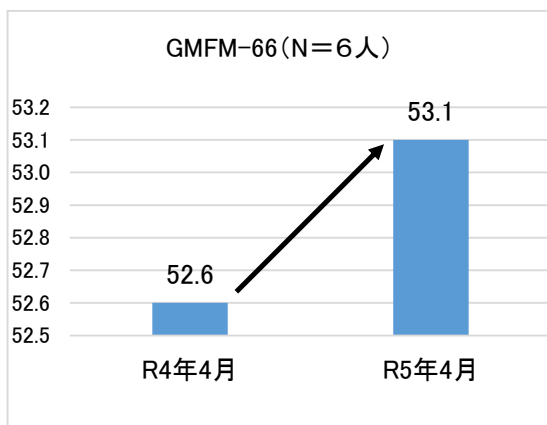
■ 理学療法効果（8歳以上の脳性麻痺児）

調査内容

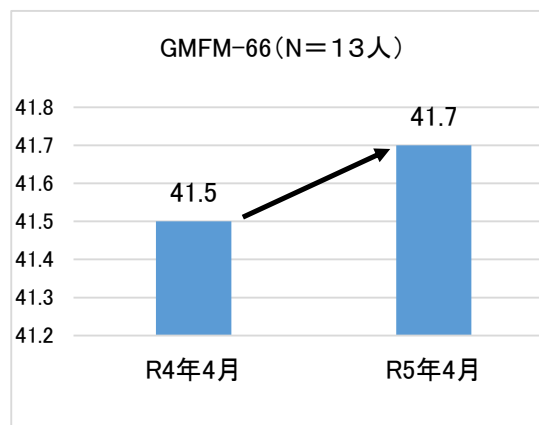
令和4年度に通所又は入所し、週1～2回理学療法を受けた8歳以上の脳性麻痺児の運動能力の変化です。

※脳性麻痺児の粗大運動能力を評価するために使用される指標（Gross Motor Function Measure: 以下GMFM）を利用しています。

①歩行器又は杖を使用して歩くレベル



②車椅子自走又は電動車椅子使用レベル



※上記のレベル（粗大運動能力システムによる分類）では、7歳で粗大運動能力がピークに達すると言われています。

※GMFM-66: 図表縦軸は、5歳の典型発達児の粗大運動能力を100とした場合の脳性麻痺児の粗大運動能力を表す数値

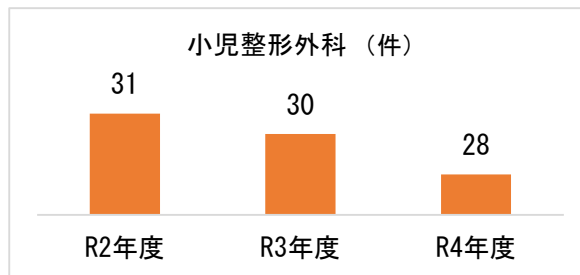
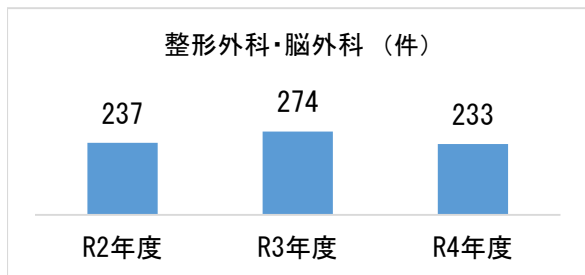
5 手術

■ 手術件数

内容

手術室で実施された手術件数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
整形外科・脳外科	237	274	233
小児整形外科	31	30	28



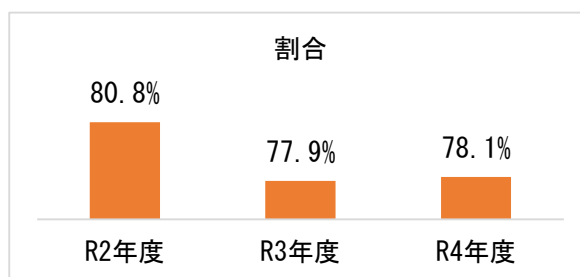
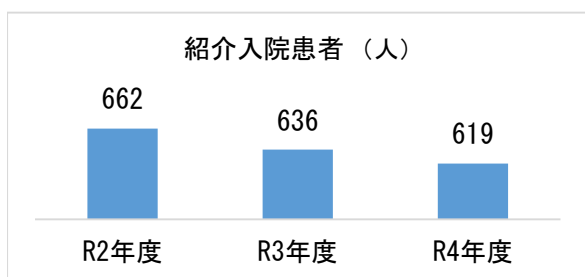
6 地域連携

■ 紹介入院患者数・率

内容

他の医療機関または施設から紹介状により紹介された患者数・割合です。

	R2年度	R3年度	R4年度
紹介入院患者	662	636	619
割合	80.8%	77.9%	78.1%

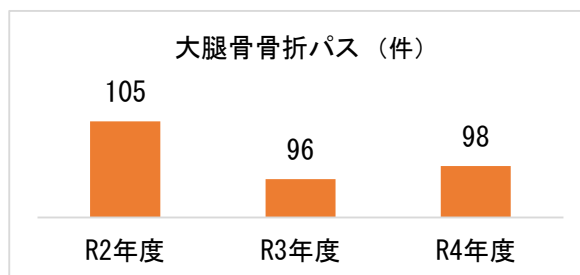
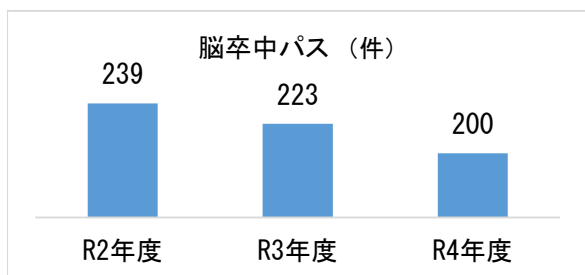


■ 地域連携パス受入件数

内容

急性期病院から回復期病院を経て、早期に自宅に帰れるよう診療計画を作成し、治療を受けるすべての医療機関で共有して用いている件数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
脳卒中パス	239	223	200
大腿骨骨折パス	105	96	98



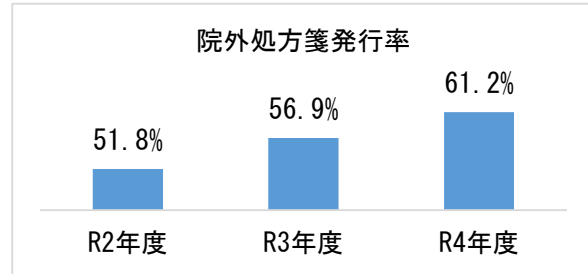
7 薬剤

■ 院外処方箋発行率

内容

病院外の調剤薬局で薬剤を受け取るために発行される処方箋の発行割合です。

	R2年度	R3年度	R4年度
院外処方箋発行率	51.8%	56.9%	61.2%

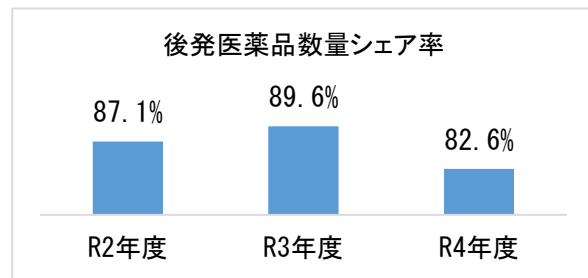


■ 後発医薬品数量シェア率

内容

当院の使用薬剤数量のうち、後発医薬品が占める割合です。

	R2年度	R3年度	R4年度
後発医薬品数量シェア率	87.1%	89.6%	82.6%

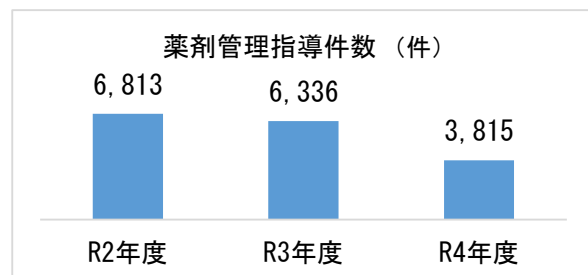


■ 薬剤管理指導件数

内容

入院患者の薬歴管理や服薬指導を行った件数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
薬剤管理指導件数	6,813	6,336	3,815



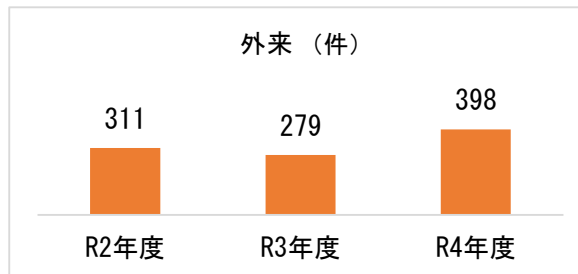
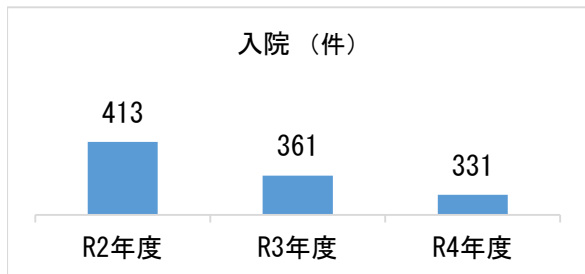
8 栄養

■ 栄養食事指導件数

内容

栄養状態改善のための、栄養や食生活に関する助言・指導件数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
入院	413	361	331
外来	311	279	398

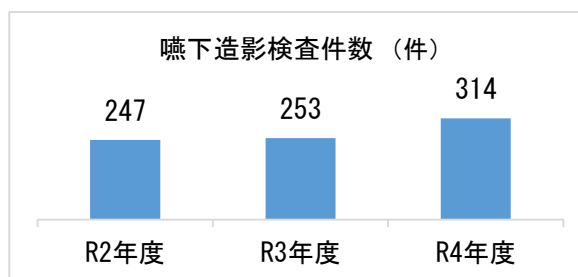


■ 嚥下造影(VF)検査件数

内容

食べ物の飲み込みの機能を、レントゲンで評価する検査件数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
嚥下造影検査件数	247	253	314



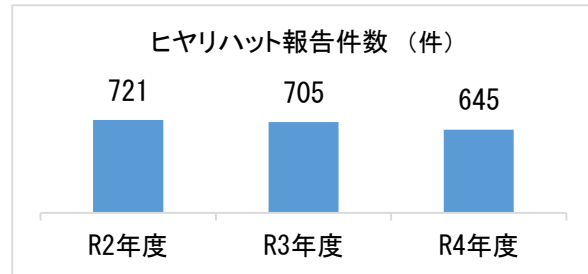
9 医療安全

■ ヒヤリハット報告件数

内容

重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の報告件数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
ヒヤリハット報告件数	721	705	645

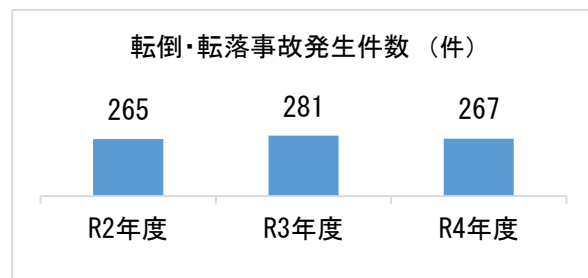


■ 転倒・転落事故発生件数

内容

医療行為とは直接関係しない、病院内で発生した転倒・転落事故の発生件数です。

	R2年度	R3年度	R4年度
転倒・転落事故発生件数	265	281	267



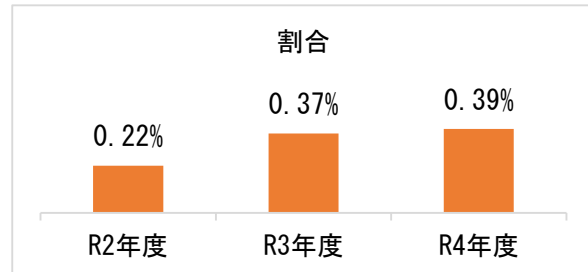
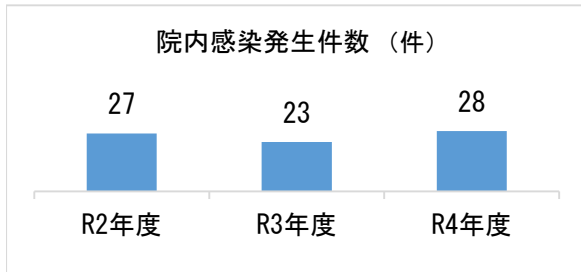
10 院内感染

■ 院内感染発生件数・率

内容

院内で、新たに細菌(MRSA)に感染した件数・割合です。

	R2年度	R3年度	R4年度
院内感染発生件数	27	23	28
割合	0.22%	0.37%	0.39%

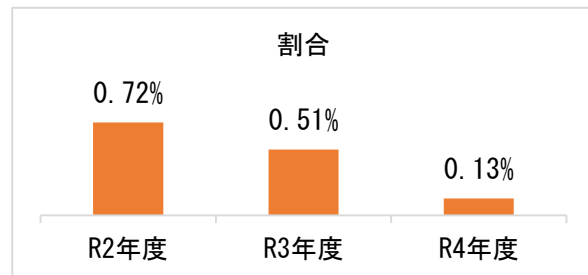
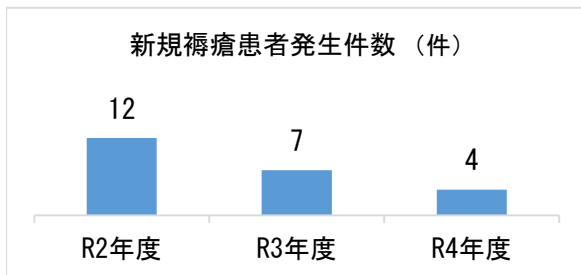


■ 新規褥瘡患者発生件数・率

内容

院内で、新たに褥瘡(床ずれ)が発生した件数・割合です。

	R2年度	R3年度	R4年度
新規褥瘡患者発生件数	12	7	4
割合	0.72%	0.51%	0.13%



【参考】

■ 令和4年度 接遇アンケート結果

調査期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日 回答者数: 114名(入院部門)

